



【島のくらしの情報】

海士町～隠岐諸島(中ノ島)～

<p>① 仕事(収入)の状況</p>	<p>海士町の産業として農業、水産業をはじめとした第一次産業が中心です。担い手の高齢化により農業・水産業をはじめとした第一次産業従事者の新たな担い手を求めており、20代～40代くらいまでの漁業や農業の後継者になってくれるような人材を探しています。</p> <p>●お問い合わせ:地産地商課 電話08514-2-1824</p> <p>このほか、島で働く看護師・介護職員等を募集しています。</p> <p>●お問い合わせ:健康福祉課 電話08514-2-1823</p>
<p>② 住居の状況 (貸家、空き家など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Iターンのための定住対策として(H16年度～H23年度) ・体験住宅8戸、定住住宅の新築39戸、空き家リニューアル29戸、公営住宅5戸、町有住宅0、看護師住宅3戸、合計84戸を緊急整備。今年度も新たに整備中 ・全住宅(体験住宅を含む)177戸・・・(内教員住宅23戸) <p>家賃等はそれぞれの住宅により異なります。</p> <p>●お問い合わせ:環境整備課 電話08514-2-1827</p>
<p>③ 医療環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島内には町営の診療所が1つあります。医師2名、看護師6名体制で島内の医療を担っています。 ・診療所だけでは手に負えない患者や、重体患者については、平成23年度から開始された、ドクターヘリにより本土の病院へ移送されます。 ・平成23年度にはCT(コンピュータ断層撮影機)を導入し、より詳しい検査ができるようになりました。 ・出産については、産科がないためほとんどの妊産婦さんが本土で出産しています。 ・島内に一つしかない診療所のため、患者さんとドクターとの信頼関係も厚く、また、患者さん同士のちょっとした交流の場となっています。 ・慢性的な看護師不足のため、看護師の募集を常時行っています。 <p>詳しくは、海士診療所採用サイト(http://ama-shinryosho.sakura.ne.jp/)をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科については、町営の歯科診療所1つ、民営の歯科診療所1つがあります。 ・各歯科診療所で特色のある診療体制を築いており、町内の歯科診療について重要な役割を果たしています。 <p>●お問い合わせ:海士診療所事務室 電話 08514-2-0212</p>
<p>④ 福祉環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島内には、特別養護老人ホームが1ヶ所、高齢者住宅が2ヶ所あり、デイサービスや短期入所などのサービスを行っています。 ・乳児医療助成、福祉医療対象者への助成を行っています。 ・町独自の助成制度として、結婚祝い金(1組 10万円)、出産祝金(1人目 10万円、2人目 20万円、3人目 50万円、4人目 100万円)、その他妊娠・出産、こどもの通院等に係る交通費助成等があります。 <p>●お問い合わせ:海士町役場健康福祉課 電話 08514-2-1823</p>

<p>⑤ 教育環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園が1園(社会福祉法人けいしょう保育園), 小学校が2校(海士小学校, 福井小学校), 中学校が1校(海士中学校), 高校が1校(隠岐島前高等学校)あります。 ・けいしょう保育園…園児数80名、教職員20名(電話 08514-2-0540) ・海士小学校…児童数30名(複式学級あり)、教職員7名(電話 08514-2-0217) ・福井小学校…児童数60名(特別支援学級あり)、教職員13名(電話 08514-2-0750) ・海士中学校…生徒数48名(特別支援学級あり)、教職員15名(電話 08514-2-0744) ・県立隠岐島前高等学校…生徒数130名、教職員30名(電話 08514-2-0731) <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園は第3子からは、保育料が無料になります。 ・平成26年度は、海士小学校は3・4年生と5・6年生が、福井小学校は3・4年生が 複式学級になります。 ・小中学校では、海士の自然や個性豊かな人々とふれあう「ふるさと教育」を積極的に推進しています。 ・隠岐島前高校は、少人数指導等きめ細やかな学習指導体制の確立や県外からの生徒を積極的に受け入れることなど、魅力ある高校の創造に努めています。 ・保育園から高校までの先生方が連携して子どもを育てていくために、「海士町保-高連携教育」の組織を作り、一貫した考え方による教育の推進を図っています。
<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島内の水道利用状況(普及率)は100%です。／し尿処理は、約70%が水洗化、残りを計画収集にて対応しています。 ・ガスはプロパンです。 ・電気は、隣の島の隠岐の島町、西ノ島町にある火力発電所を利用。
<p>⑦ 本土との交通手段 (費用、時間、便数など)</p>	<p>【航路】フェリー又は高速船 島根県松江市七類港又は鳥取県境港市境港 JRをご利用の場合 米子[境線・45分] = 境港 = 連絡バス[約17分] = 七類港 松江駅 = 連絡バス[約35分] = 七類港 フェリーを利用:フェリー「くにが」で約3時間(1日1便)・大人3,240円(二等)又はフェリー「しらしま」で約3時間(1日1便)・大人3,240円(二等)。 高速船を利用:高速船「レインボージェット」で約2時間(1日2~3便)・大人6,170円。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>⑧ 島内の交通手段 (費用、便数など)</p>	<p>【島内交通】バス 菱浦港から 2路線があります。大体終着の集落へは30分です。 ※このほか島にはタクシー会社が2社あり、観光タクシーも行ってきます。利用する場合は事前予約がおすすめです。 問い合わせ先:海士町観光協会 08514-2-0101</p>

<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物場所】 商店などの雑貨屋が10軒、食堂が12軒あります。その他、隠れ商店が各地区に1～2軒残っています。</p> <p>【物価例】 2016年10月の価格 米(コシヒカリ5kg)2,300円、ティッシュペーパー(5箱入り1パック)390円、ガソリン(1L)129円、灯油(18L店頭売り)1,602円</p> <p>※このほか、野菜などは自家用の畑で作っている方が多くいるため、漁師と農家で、魚と野菜の物々交換などもよく行われており、近所の方と仲良くなると、野菜や魚などのお裾分けも多くなります。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>■「海士ファン・バンク」の設置(H18.10)・・・出資額(1口)50万円、年3%利息相当の島内産品をオーナーに、7年後に一括返済する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況(H23年3月末現在)30口1,500万円(畜産(2人)600万円、漁業(3人)900万円) ・モノづくりをベースとする産業振興策を進めた結果、 ・雇用創出効果 185人(Uターン者 H23年3月末現在) ・加工業務に関するセミナー及び人材育成講習会を160回実施。 ・流通及び販路開拓のための人材育成講習会を124回実施 ・ITに関する講習会を20回実施。 ・資源発掘、宝探しなど、商品開発の施策を進めた結果、 ・商品開発研修生採用 25人(内、2名が現役、7名が町内就職又は起業。) ・地域資源を活用したモノづくり運動を進めた結果、 ・集落及びグループ等、活動団体結成 7組 ・島での就職や起業、島暮らしの運動を展開した結果、 ・215世帯、327人のUターン者が海士町に定住・・・「信頼できたから」・「宝物があるから」・「職員の対応が良かった」など。(H23年12月末現在・定着率約7割) <p>※ 総人口では増えないが、活力人口が増えたことによって人口構成のバランスが良くなった。</p> <p>・Uターンのために特別な支援制度は何もない。</p> <p>出身地別Uターン世帯数 北海道・東北 5世帯 関東 58世帯 信 越 4世帯 東海 8世帯 近 畿 53世帯 中国・四国 68世帯 九州・沖縄 18世帯 外国 1世帯</p>
<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>状況により異なりますので、お問い合わせをお願いいたします。問い合わせ先：海士町観光協会 08514-2-0101</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>就職などの内定を受けている方は、就職先の規程により支給</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報</p>	<p>・転入の際には、区長へ事前にあいさつに行ったり、地区の一斉清掃や寄り合いなどに積極的に参加し、自分から地域に溶け込む努力をすることが大切です。人口が少ないため島の多くの行事に参加する必要があると思います。</p>